

平成30年2月27日（火） 記者配布資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
岐阜県 恵那農林事務所	農地整備課 計画調整係	増井 礼智朗	0573-26-1111（内線 293）

「NPO 法人 農村景観日本一を守る会」

平成29年度農業農村整備事業広報大賞受賞報告について

全国農業振興技術連盟が主催する「平成29年度農業農村整備事業広報大賞」において、NPO 法人農村景観日本一を守る会（吉村攻平理事長）が、**最高賞の広報大賞**を受賞しました。平成3年度に第1回が開催され今年度で27回目になりますが、**岐阜県としては初めての大賞受賞**となります。

広報大賞は、農業農村整備事業に係る広報活動の面で特に顕著な功績のあった団体に対し表彰するものです。今年度は全国から推薦がありました43地区の中から審査の結果、広報大賞2団体等が決定され、平成30年2月22日 科学技術館（東京都千代田区）において表彰式が行われました。

については下記のとおり所長への受賞報告に來られましたので、お知らせします。

記

- 日時 平成30年2月26日（月） 午後14時30分～
- 場所 恵那農林事務所 所長室
- 報告者 NPO 法人 農村景観日本一を守る会
理事長 吉村攻平（よしむら こうへい）氏
副理事長 細江健吉（ほそえ けんきち）氏
- 広報の概要 別紙1のとおり



平成 30 年 2 月 22 日授賞式（東京科学技術館 サイエンスホール）



「農村景観日本一を守る」

岐阜県恵那市岩村町の富田地区は、平成元年に「古い日本の農村景観を見事に残している」と称賛を受け「日本一の農村景観」との称号を得ました。NPO 法人 農村景観日本一を守る会（のういち会）は、農村景観の保全活動やその景観を活かした事業の展開により、都市住民との交流や新たな地域資源の発掘、農産物・加工品の生産などを図り持続可能な地域の活性化を目指し活動しています。

・リノベーション「茅の宿とみだ」の再生

富田地区に唯一残っていた景観上重要な建物である「茅葺きの家」を平成22年5月に農家民宿「茅の宿とみだ」としてリノベーションし、グリーンツーリズム拠点としてはもちろん、インバウンド拠点としても、また研修やイベントで生産したお米、蕎麦、地元野菜の有効活用としてランチを提供したりなど、様々な活動の中心拠点として活用しています。

・農業体験

田植えや稲刈り、山菜採り、旬野菜の収穫、地元のお母さんたちとの料理作りなど様々な体験メニューを用意。遊休農地の活用と交流を目的として蕎麦栽培も実施しています。また企業向け農業体験型研修としては複数の企業を対象に継続的に活動しています。

・都市交流

春には、いわむら城下ひな祭りに連携した「おひなさま会」や「鯉のぼりと水土里を感じる会」を開催。秋には富田地区一帯に点在するお堂と石仏を巡るスタンプラリーを20年以上にわたり実施。また冬には地元の若い世代を中心に、JAZZ ライブありの「トラクターイルミネーション」を実施し、町内だけでなく都会の人にも四季の田園風景や、地元の農産物を味わってもらうなど地元との交流やふれあいの場の提供・地域の活性化につながっています。

・情報発信

里山（三森山）に抱かれる農村をコンセプトに生まれた農村景観日本一を守る会のイメージキャラクター「のういち君」を作成し、キャラクターグッズなども販売。また「のういち便り」を発行しHPで情報発信しています。

このように多種多様で多面的な取り組み企画や活動を、地域住民や都市住民を巻き込み継続的に行っており、日本一の農村景観を守り、農地の多面的機能を守ることの重要性について、幅広い世代・地域に広報することに貢献しています。また地域外にも広くPRすることで、県内外からの観光・訪問客が増え、都市住民との交流に大きく寄与しています。

